南あわじ市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2022年1月　No.158号

わたしの未来を支えるわたし

～令和３年度　生活支援サービスの担い手養成研修　受講者募集～

この研修を受けると、南あわじ市内の訪問介護事業所などで、掃除や買い物などの家事支援のお仕事ができます。高齢者を在宅で支える様子を、身近なものとして学んでみませんか？

日　時　２月13日（日）、２月27日（日）の２日間　９時30分～16時30分
場　所　南あわじ市中央公民館　講義室
内　容　本人や家族とのコミュニケーション、老化や疾病についての理解と介護予防についてなど介護現場で働いている方からのお話し
対象者　掃除や買い物などの家事支援のお仕事に興味のある方
　　福祉のお仕事に興味のある方　など
参加費　無料
募集人数　先着２０名
申込締切　２月７日（月）

地域に学ぶ！　「トライやるウィーク」の受け入れを行いました♪

「架け橋パントリー」の準備をお手伝いしてもらいました

卓球バレーにも挑戦！！

12月６日～10日の５日間、「トライやる・ウィーク」体験活動として、西淡中学校の生徒３名を受入れました。この経験をこれからの生活にも、ぜひ生かしてもらいたいと思います。

視覚障がいのある方の手引きを体験しました♪

謹賀新年

佳き年を迎えみなさまのご健勝をお慶び申しあげます
本年もよろしくお願いいたします

発行　南あわじ市社会福祉協議会　ボランティアセンター
〒656-0122　南あわじ市広田広田1064
TEL：44-3007　FAX：44-3037
MAIL：info@minamiawaji-shakyo.or.jp

生活支援コーディネーターだより

2022.1

「寺子屋って何？」「なにするところ？」「わからへんけど慈眼寺は知ってる！」と多分そう思いながら１２月１１日の午後、お母さんと一緒に小学１・２年生の子どもたちが福良にある慈眼寺にやってきました。「寺子屋」が開催される日です。

ボーンボーン、ぽっこぽこ、シャリシャリ、カチカチ・・・ご住職と一緒に子どもたちが、お経をあげるときの鳴り物の太鼓、木魚、錫杖、音木を鳴らしてリズムを取り、それに合わせて「観自在菩薩行深般若波羅密多時・・・」と大人たちが般若心経を唱えて寺子屋が始まりました。

地域の書道の先生である松坂さんに、子どもたちは年賀状の硬筆を、大人たちは写経を習いました。子どもたちが１時間もの間、正座をして取り組んでいた姿は、凛とした雰囲気のお寺に実にマッチしていました。その昔、お寺や神社は子どもたちの遊び場でした。遊びながら、子どもたちは大人から褒められたり、叱られたりしながら生活を学んでいきました。情報量も多い昨今では同様にはなりませんが、地域の子どもたちが、地域に住む大人たちと一緒になって学んだり、遊んだりできる機会が「寺子屋」で生まれていけば楽しいこと間違いなしです。

この寺子屋ですが、福良まちづくり推進協議会が南あわじ市のチャレンジ事業として開催したものです。始動したばかりの事業で話し合いを重ねている最中ですが、次回の開催に向けて「おもろい何か」はないかと頭をひねっています。乞うご期待！！

川柳コーナー

今回のお題は…

「秋うらら実り川柳」

たくさんの投稿、ありがとうございました

秋の夜は　ひとりカラオケ　演歌だぜ　かんちゃん

クレーン車に　朝の挨拶　霧の中　夢追い人

秋惜しみ　散りゆく前の　ひとり旅　ＳＫ

コロナ禍で　革の実程の　孫孝行　食いしん坊九十一歳ババ

曼殊沙華　田んぼに映える　紅生姜　妖怪おばはん

秋晴れに　ババ友つどう　寺の前　さっちゃん

幸彩展覧会

今回は「切り絵」が展示されています。
どうぞご覧ください！

次回のお題は、**「寅年だけに　今年は何にとらイする？」**です。
この冬は寒いと聞きます。心を暖めるべくみなさんの熱い力作をお待ちしています。